



OO



FF



FF



もっともつとを可能性に。

KURIMOTO BUSINESS & STYLE BOOK

OO



ΣΣ



もっと、社会に貢献したい
もっと、技術を高めたいが100年以上。

1909年、水道やガス用の鑄鉄管の製造から歩みを始めた栗本鐵工所。
創業以来100年以上にわたり、社会のためにできることを考え、挑戦する心で技術を磨いてきました。
今では6つの事業分野を展開し、暮らしと産業を支える企業へと成長しています。

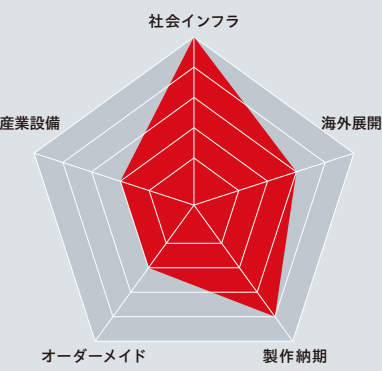
1909

1909年事業スタート
パイプシステム事業部

1909年の創業時より続く、当社の原点となる事業です。「世の人々にあまねく衛生的で綺麗な水を届けたい」という創業者の想いを受け継ぎ、生活に必要な不可欠な命の水を届けるダクタイル鉄管を製造・販売しており、全国各地で水インフラの構築に貢献しています。近年は製造メーカーの枠を超え、これまで培ったノウハウをもとに設計から施工までを一括で請け負うなど、新たな事業領域へも挑戦しています。

製品と事業特徴

ダクタイル鉄管は上下水道をはじめ、水に関わるあらゆる分野で活躍しています。地震や台風などの自然災害時でも高い耐震性能を発揮し、いつでも確実に水を届けます。



PIPE SYSTEMS

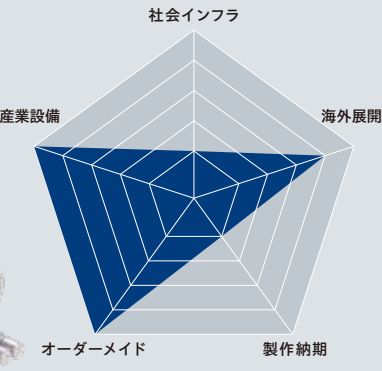
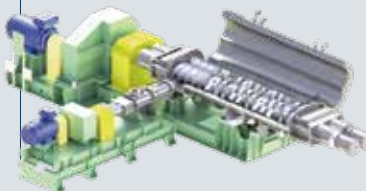
1934

1934年事業スタート
機械システム事業部

1933年に粉砕機、プレス機の製造から始まった当社の機械システム事業は、産業機械の提供を通してモノづくりの現場を支えています。1970年代以降、プラント建設などにもビジネスを拡大し、現在は粉体機器、プレス機器、プラントエンジニアリングの三本柱で成長を続けています。カーボンニュートラルや環境負荷の低減といった社会課題の解決に貢献し、持続可能な社会を支える一翼を担い続けます。

製品と事業特徴

粉砕・乾燥・混合などの粉体機器や鍛造プレス機を製造し、工場やエネルギー産業を支援。省エネで環境にやさしいものづくりを実現しています。



PLANT ENGINEERING AND MACHINERY

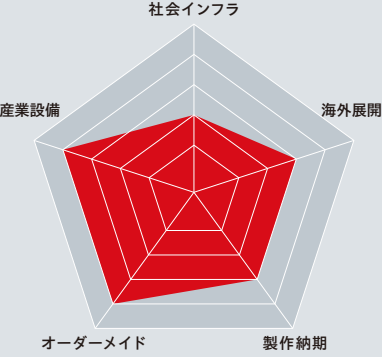
1935

1935年事業スタート
素形材
エンジニアリング事業部

骨材資源業界や鉄鋼業界をはじめ、さまざまな産業分野で使用する破砕機器、耐熱・耐摩耗鑄物製品、鉄道用ブレーキディスクや浚渫用ポンプなどを提供。プラントの設計・施工といった周辺サービスも展開しています。持続可能な事業を目指し、AI技術による自動化や省人化のシステム開発にも取り組んでいます。

製品と事業特徴

鑄物材料技術と破砕技術を活かした耐熱・耐摩耗鑄物、破砕機器・浚渫用ポンプ、鉄道用ブレーキディスクとそれらに関連するエンジニアリングを提供しています。



MATERIALS AND MACHINERY

私たちの5つの強み

1 技術と品質	2 トータルソリューション
3 人材	4 信頼
5 事業構成	

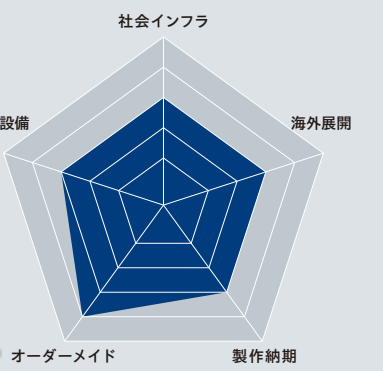
1940

1940年事業スタート
バルブシステム事業部

上下水道や発電所、製鉄所など、水や空気の流れを正確に制御する技術が求められる現場で活躍する事業です。1970年代以降、社会インフラの高度化に合わせて多様なバルブを開発し、流体の「止める・流す・調整する」を自在にコントロール。高温・高圧・腐食環境にも対応し、安全で効率的な運転を実現しています。暮らしの見えないところで社会を支える、信頼の技術がここにあります。

製品と事業特徴

水や空気の流れをコントロールする高品質なバルブを製造。高温・高圧にも耐え、暮らしや産業の安全を守っています。



VALVE SYSTEMS

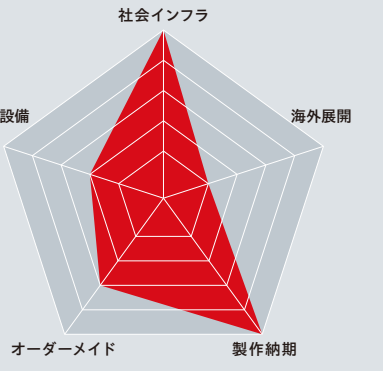
1958

1958年事業スタート
建材事業部

高度成長期の都市化とともに生まれた建材事業は、快適で静かな空間づくりに貢献しています。空調向けスパイラルダクトならびに土木・建築向けワインディングパイプといった軽量で施工しやすい建設資材の製造・販売を通じて、省施工・省エネ・遮音など多様なニーズに対応。住宅やオフィスから公共施設まで幅広く採用されています。また道路・ごみ焼却施設等の騒音源に対する調査・分析から対策・測定まで技術を活かした一貫したソリューションにより、人々の暮らしを支える「快適さ」を追求する事業として発展を続けています。

製品と事業特徴

日本国内におけるスパイラルダクトのパイオニアとして、幅広い製品ラインナップと全国7工場のネットワークを活かし、迅速な供給でお客様のニーズに応えています。



CONSTRUCTION MATERIALS

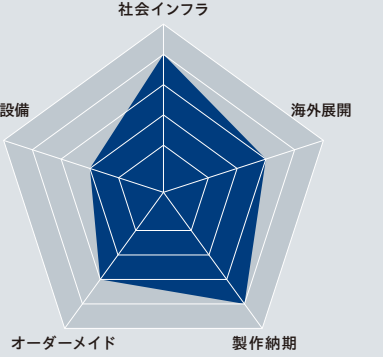
1971

1971年事業スタート
化成品事業部

1970年代にスタートした化成品事業は、軽くて強いFRP（繊維強化プラスチック）を中心に、錆びることなく長持ちする素材を提供しています。下水道や工場設備、橋梁などで活躍し、環境負荷を減らしながら高い耐久性を実現。リサイクルや軽量化が求められる社会の流れに合わせて進化を続けています。人と環境の未来を見つめた、次世代の素材づくりを担う事業です。

製品と事業特徴

軽くて強いFRPなどのプラスチック製品を提供。錆びることなく長持ちする素材で、環境にやさしい社会づくりを支えています。



PLASTIC PRODUCTS

有害な鉛を使用せずに
変わらない使いやすさを実現した

▶ 鉛フリー銅合金

栗本鐵工所の「銅合金」は、環境規制による鉛の使用制限に応える次世代素材です。従来の鉛入り銅合金と同等以上の摩擦特性・耐食性・製造性を実現しており、当社はよりスムーズに鉛フリー化を実現すべく素材製作から評価・製品化まで一貫した技術支援を行っています。社会インフラや産業設備の部品として、安心できる暮らしと持続可能な未来を支える“素材のチカラ”です。

鉛フリー銅合金
の使いどころ

軸受けなど機械部品
バルブなど水道部材



「軽量化」と「扱いやすさ」を追求した
人と環境にやさしい金属

▶ マグネシウム合金

栗本鐵工所のマグネシウム合金「KEHMA®」は、軽量化を図るにあたって従来の「燃えやすく取り扱いが困難」「高温環境に耐えられない」といった課題を克服した素材です。素材供給から試作・評価・製品化まで一貫したソリューションを提供しており、“軽くて強く、扱いやすい”次世代金属として注目されています。

マグネシウム合金
の使いどころ

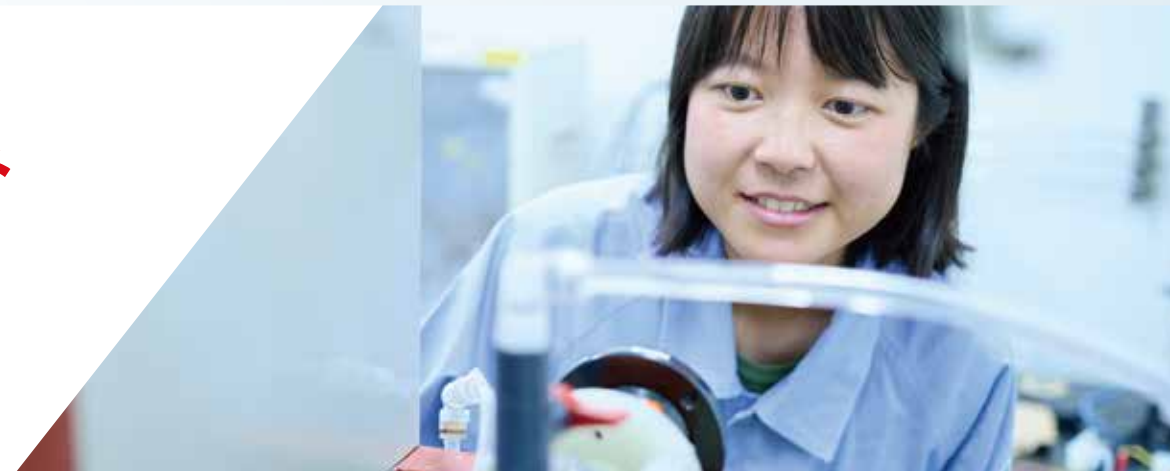
自動車部品、ドローン、ノートPCの筐体、
デジタルカメラの筐体など



もっと、未来の可能性を広げる栗本鐵工所

栗本鐵工所は、100年を超える歴史のなかで培ってきた技術開発力や素材・ソリューション力を駆使し、未来にさまざまな可能性を広げる製品づくりに取り組んでいます。

の取り組み



磁気により硬さをコントロールできる流体で
新感覚を生み出す

▶ SoftMRF®

SoftMRF®は、磁場を変化させることで硬さをコントロールできる磁気粘性流体の一種で、ナノサイズの鉄粒子を配合した栗本鐵工所独自の流体です。触覚を伝える新しい技術「ハプティクス」の分野で、VR機器や健康器具等への適用により、さまざまな場面で「映像に触れる」「リアルな感触を得る」体験を可能にします。

SoftMRF®
の使いどころ

触覚スイッチやコントローラー、
トルク伝達などの機械要素部品



キャビテーションの
壊すチカラを、創るチカラに

▶ ハイドロスピア™ 技術

高速流の液体中で発生する気泡、キャビテーション現象を活用する技術です。「洗う」と「混ぜる」の2つの作用に注目しており、「洗う」機能は産業用途から家庭での手洗いまで幅広く応用できます。また、「混ぜる」機能は、油と水といった複数の液体はもちろん、気体と液体などさまざまな物質を均一に混合させることが可能です。

ハイドロスピア™
の使いどころ

産業用洗浄装置、
家電製品、油水混合装置、
微細気泡発生装置



Motto

PROFES

SIONAL

栗本鐵工所の
職種図鑑

研究・開発



新技術・素材・工法等の研究・開発・事業化支援などが主な業務です。

設計



製品の見積・製作設計、製作から納品までの技術的支援・管理、営業活動への技術的支援などが主な業務です。

管路設計



パイプラインに用いる管種・管路構成の決定などの設計、営業活動への技術的支援などが主な業務です。

工程管理



製品の製作工程ごとの納期管理、設計・生産等関係部門との諸調整などが主な業務です。

調達



生産活動に必要な原材料や部品の購入先選定・見積、価格・納期交渉、発注および在庫管理などが主な業務です。

生産管理



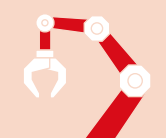
製品の製作手配、出荷指示などの工程管理、在庫管理、資材の受発注などが主な業務です。

生産技術



生産工程上の技術的支援、生産工程の改良、設備投資の技術的検討、不具合の対策検討などが主な業務です。

製造



製造ラインでの生産活動、人員・生産量・品質・納期などの管理、調整やコア技能の伝承などが主な業務です。

品質保証



製品の性能・品質の検査、検査基準の管理、規格の標準化、審査・認証の管理、不適合対応などが主な業務です。

設備管理



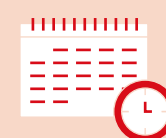
生産設備の点検・補修・部品交換・故障診断・復旧業務、新規設備導入の計画・実施などが主な業務です。

配管技術



パイプラインの接合・配管の技術的指導などが主な業務です。

施工管理



製品の据付・配管等の工事における施工管理、工事積算、現場管理などが主な業務です。

技術営業



専門知識を活かした市場調査、戦略立案、ニーズ把握、製品提案、価格交渉・契約、納品対応などが主な業務です。

営業



市場調査、戦略立案、ニーズ把握、製品提案、価格交渉・契約、納品対応などが主な業務です。

経営企画



経営方針・戦略に基づく経営計画の立案・管理などのほか、企業情報を社内外に発信する広報などが主な業務です。

知財



全社の知的財産戦略の策定、特許・意匠・商標などの知的財産の出願、管理や活用支援などが主な業務です。

人事・人材開発



採用、配置、評価、処遇、育成、人事諸制度の企画・運用などが主な業務です。

情報システム



IT戦略の立案、事業運営上必要な情報システムの企画・構築・運用保守、インフラ構築などが主な業務です。

メンテナンス



お客様に納入した製品の点検・補修・部品交換・故障診断・復旧などが主な業務です。

財務・経理



専門知識を活かした決算、税務、予算、業績管理、資金調達などが主な業務です。工場では原価計算を担います。

法務



専門知識を活かした契約書類確認、規程管理、コンプライアンス活動の推進、訴訟対応などが主な業務です。

システムエンジニア



技術的専門知識を活かした情報システム開発・運用・保守、IT資産の管理、社内サポートなどが主な業務です。

総務



福利厚生制度の企画・運営、施設の管理、株主総会運営などが主な業務です。工場では労務、施設管理などを担います。

もっと、**ワクワクしたい** もっと、**成長したい**を叶える。

栗本鐵工所は一人ひとりの挑戦を尊重し、自らの可能性を広げられる環境づくりを大切にしています。
仲間と協力しながら新しい価値を生み出す仕事は、やりがいと成長を実感できるものです。
信頼とチャレンジが息づくフィールドで、自分らしい未来を描いてください。

人事担当役員メッセージ

「もっともっといいクリモト」へ。 挑戦する主役は、“あなた”です。

取締役上席執行役員
人事・総務担当
藤本 容志

創業から100年以上、私たちは社会や産業のインフラを支えるものづくりを続けてきました。長い歴史のなかで大切にしてきたのは、「世の中に価値あるものを届けたい」という想いです。そして今、次の100年に向けて掲げている合言葉が「もっともっといいクリモト」。現状に満足せず、事業も人もより良くしていこうという意志を表しています。

事業展開では、6つの事業部がそれぞれの強みを活かしながらさまざまな社会課題に挑戦中。特に「国土強靱化（自然災害に強く、しなやかに復旧できる国土づくり）」や「カーボンニュートラル（温室効果ガスの排出量ゼロへの取り組み）」といった、これからの社会に不可欠なテーマに注力しています。

人材教育においても、挑戦できる環境づくりを大切にしています。若手社員にも早い段階から担当を任せ、自分で考えて行動するチカラを育成。目的やゴールは共有しつつ、そこに至るまでのプロセスは自由にすることで、一人ひとりの成長をバックアップしています。また、上司とは別に相談できるメンター制度や、自分のキャリアに合った研修を選べる仕組みも、挑戦を後押しするものです。

社会の変化に挑む私たちが求めるのは、自分の軸を持ち、利他的に考え、挑戦を楽しむ人。仲間と協力し、チームや会社全体の成果を見据えて行動できる人が、これからのクリモトを創造してくれると信じています。

当社は、社員数約1,500名というほどよい規模も魅力のひとつ。各事業部の人数はそれほど多くないため、若手も裁量を持って働いています。さらに長年築いてきたお客様との信頼関係があり、仕事を進めやすい環境が整っています。在宅勤務やフレックスタイム制度、男性育休の取得促進など、時代に合わせた柔軟な働き方も取り入れています。

私たちが目指すのは、お客様にとっても、社員にとっても「もっともっといいクリモト」であり続けること。これからの時代を支える“人”こそが、会社の原動力になります。私たちの想いに共感してくれるあなたと、「もっともっと」いい未来を築いていけることを楽しみにしています。

「社員の成長」が原動力となる

栗本鐵工所が大切にしている風土づくり

1 ▶

組織と共に成長していく チームクリモト

利他の考えを大切にしながら、部署の垣根を越え、技術・営業・製造・開発といった社内はもちろん、社外の人も巻き込みながら、変化に挑み、社会インフラと産業設備を支える“ひとつのチーム”として、新たな価値を創出する文化を大切にしています。



2 ▶

チャレンジを促すため 裁量権を持たせる

型にはまった考え方にとらわれず、自分らしい方法で目標を達成することを大切にしています。仕事の進め方やアプローチは一人ひとりに委ねられ、自由な発想で挑戦できる環境があります。大きな裁量のもとで、自ら考え、行動し、成果を生み出していくことができます。



3 ▶

柔軟な考えを取り入れる 若手社員の活躍

若手社員にも早い段階から担当エリアや業務を任せるなど、主体的に挑戦できる環境が整っています。先輩がサポートしながら、自分で判断できる経験を通して成長を促しているため、若手ならではの発想や行動力が新しい価値を生み出しています。



もっと、仕事が面白くなった若手技術

できることが増え、自分の成長を実感するたびに仕事はもっと面白くなる。
各事業部で挑戦を重ねる入社2～3年目社員のリアルな声を届けます。



パイプシステム事業部 研究職

パイプシステム事業部
研究部
防食材料グループ
2023年入社 Y.K

**「社会に貢献したい」想いを
ものづくりでカタチに。**

社員の声



先輩紹介はYouTubeで
動画も公開中



仕事の面白さとやりがいを感じる点

私は水道管の外表面・内面に使用される塗料の開発を担当しています。現在はCO₂削減のため、有機溶剤系塗料から水系塗料への切り替えにも挑戦中。試験で良い結果が出たときの達成感はもちろん、うまくいかないときに原因を考察する過程にも面白さを感じます。ものづくりを通じて社会に貢献できるやりがいも大きいですね。

これから挑戦してみたいこと

製造工程を見直し、水道管の外表面塗料を統一することで作業効率を高めたいと考えています。現在は用途や施工場所により塗装仕様が異なりますが、防食性とコスト面に優れた汎用性の高い塗料を開発すれば、この目標を実現できるはず。製造現場の負担軽減や品質の安定につながる塗料の開発に力を入れていきたいです。

VOICE 01

VOICE 02

バルブシステム事業部 設計職

**想像以上にクリエイティブ！
だから仕事に夢中になれる。**

栗本鐵工所への入社を決めた理由

ものづくりの世界に憧れがあり、特に社会を支えるインフラ分野に関わりたと思っていました。なかでも幅広いインフラ製品を手がけ、多様な業界で活躍しているクリモトに注目。就職活動中に若手技術者社員と話した際、「ここなら面白い仕事ができそう」と将来をイメージできたことが入社決め手になりました。

入社前と実際のイメージのギャップ

インフラ製品を扱うメーカーは、限られたパターンの製品を作り続ける保守的なイメージがありました。しかし社会は常に新しい課題に直面し、同じモノを作り続けるだけでは対応できません。ものづくりを通じた課題解決に取り組むうち、思っていた以上にクリエイティブでやりがいのある仕事だと実感しています。

バルブシステム事業部
バルブ技術部
設計グループ
2024年入社 W.K



機械システム事業部
粉体プロセス本部
粉体プロセス技術部
2024年入社 O.N

機械システム事業部 設計職

**伝統の技術を受け継ぎ
新発想で進化させる。**

栗本鐵工所への入社を決めた理由

幅広い事業を展開し、社会への貢献度が高いところに惹かれました。長い歴史のなかで常に成長してきた独自のノウハウ、技術力がしっかり継承されている点も他社に比べてアドバンテージに。さらに長期インターンシップで仕事の醍醐味を実感したのも決め手のひとつ。今はクリモトを選んで正解だったと思っています。

仕事の面白さとやりがいを感じる点

私の仕事は、食品や医薬品などの工場で使われる粉体機器の設計。これらはすべてオーダーメイドのため自由度が高く、自分の考えを反映できる場所に面白さを感じます。実用性を考慮しながら細部までこだわった設計ができる点、描いた図面が実際の製品として完成し、問題なく動作したときの達成感も格別です。

VOICE 03



素形材エンジニアリング事業部
エンジニアリング部
開発課
2023年入社 **S.R**

素形材エンジニアリング事業部 開発職

**まだ世にない装置を生み出し
リサイクルの新時代を拓く。**

仕事の面白さとやりがいを感じる点

私の担当業務は、再生骨材製造装置の開発です。近年、老朽化したコンクリート構造物の解体で発生するコンクリートガラが増えるなか、従来のリサイクル方法では循環が滞り、新たな装置開発が求められています。まだ世の中にはない装置を開発できれば、私たちが先駆者になれるという挑戦に大きなやりがいを感じます。

入社前と実際のイメージのギャップ

設計・開発志望だったので、入社前はデスクワークのイメージしかありませんでした。それが実際に働いてみると出張や現場実験などもあり、予想よりアクティブな働き方にビックリ。個人的にこのギャップはプラスに感じており、PCと向かい合う仕事だけでなく、適度に外出する機会もあって気分転換になっています。



建材事業部
技術開発部
技術開発課
2024年入社 **F.M**

建材事業部 開発職

**成長を後押ししてくれる環境で
新製品の開発にチャレンジ。**

現在の仕事とこれからの目標

橋梁用資材や空調製品などの設計から試作、現場テストまで、一連の開発プロセスを担当。製品を完成させるまでは多くの課題をクリアしなければいけませんが、最終的に自分のアイデアをカタチにできたときは大きな喜びがあります。今後は独自性を持った新製品や新事業の開発にも挑戦していきたいと考えています。

入社前と実際のイメージのギャップ

100年以上の長い歴史を持つ会社なので、「伝統的で堅い雰囲気
の職場なのだろう」と想像していました。ところが実際は、上司や
先輩にもフランクに相談できて意見の言いやすい雰囲気。また問
題解決のプロセスを学べる研修や、挑戦を後押ししてくれるサポ
ート体制も整っており、前向きに新しい仕事に取り組みます。

EMPLOYEES' VOICES

もっと、仕事が面白くなった若手技術社員の声



化成品事業部 設計職

化成品事業部
技術開発部
大阪設計課
2023年入社 **O.F**

**まだまだ伸びしろのある
FRPの可能性にワクワク。**

仕事の面白さとやりがいを感じる点

主な業務は、FRP（繊維強化プラスチック）を用いた製品の設計・強度計算や新規開発です。FRPは軽量で高強度、さらに腐食しにくい特長を持ち、電力・下水道・橋梁など多様なインフラ分野で活用されているもの。従来の材料とは異なるため、解析や試験を繰り返しながら最適な構造を見つけていくプロセスが楽しいです。

これから挑戦してみたいこと

FRPは他の構造材料と比べてまだ歴史が浅く、今後さらなる発展の可能性を秘めた素材です。そんなFRPの新たな用途を開拓し、社会インフラの維持管理や今までにない構造物への応用など多彩な分野でその価値を広めていきたいと考えています。若手も意見や提案をしやすい環境で、技術者としての成長を目指します。



技術開発室 研究職

技術開発室
開発本部
開発一部 開発四課
2023年入社 **T.M**

新たなアプローチも取り入れ
もっと知見を深めていきたい。

現在の仕事とこれからの目標

海水ポンプに使われる、耐海水腐食性を持つ銅合金の研究開発を行っています。目指しているのは、海水高流速下での浸食や腐食に耐える銅合金の成分を明らかにすること。その実現に向け、腐食する現象を理論的に解明する電気化学的アプローチも視野に入れ、新しい知識を積極的に吸収していきたいと思っています。

入社前と実際のイメージのギャップ

学生時代は会社で働くこと自体が未知で、決められた業務を淡々とこなすのだと思っていました。しかし入社してみると、ある程度自分の考えて仕事を進められる裁量があります。もちろん一人で抱え込む必要はなく、先輩に助言をもらいながら取り組めるので安心。大阪出身の人が多くて人との距離が近いのも魅力です。

CROSS TALK

若手営業社員 座談会



建材事業部
消音営業部
2024年入社
T.K

経営学部 経営学科卒。学生時代は接客のアルバイトに力を入れ、忙しいなかでもチームで協力し合う楽しさに気づく。現在は営業として、高速道路や建築物向けの防音パネルやサイレンサ等の消音製品を担当。現場にも足を運びながら学びを深めている。



素形材エンジニアリング事業部
鋳物営業部
2024年入社
N.N

経営学部 マネジメント学科卒。学生時代はアメフトに打ち込み、毎日グラウンドに通う日々を送る。現在は特殊鋳物を用いた設備部品の営業として、形状提案や材質選定など幅広い業務を担当。スポーツで鍛えた粘り強さが持ち味。



化成品事業部
開発営業部
2024年入社
F.S

外国語学部 英米語学科卒。学生時代は友人とのシェアハウス生活を経験。現在はFRP製品の営業として、全国の商社やメーカーを担当。スマホや液晶ディスプレイに使われるフィルムの芯材を扱い、FRPの可能性を広げることに挑戦中。

Motto

もっと、活躍したいと思える

フィールドがある

クリモトとの出会いと第一印象 それぞれの原点を振り返る



私はもともとメーカーの営業志望で就職活動をしていました。商社やサービス業よりも「自分の会社の製品を、自分の言葉で説明して届ける」ほうが向いていると思ったんです。クリモトと出会ったのは就職情報サイトで、100年以上の歴史と社会インフラを支えるスケールの大きさに惹かれたのがきっかけ。みんなは何でクリモトを知ったの？



私も同じく、就職情報サイトで見つけました。外国語学部出身だから最初はサービス業やホテル業界を調べていたけど、実際にインターンシップに参加すると合わないなぁと感じて。そこから「形のあるものを通して人の役に立つ仕事」をしたいと思い、機械系メーカーに興味を持ったんです。



私は就職活動中にいろんな業界を見過ぎて、自分が何をしたいのかわからなくなってしまった。そんな時、夜勤の警備アルバイトで水道工事の現場を目にする機会がありました。夜中でもインフラを支える人たちの姿を見て、「自分もこういう多くの人々の生活を支える仕事

がしたい」と思ったのが原点。水道管などが古くなっていて、更新が必要な時期だと聞いたときにも将来性を感じましたね。



たしかにクリモトって、“人々の暮らしを支えるものづくり”をしている会社ですね。私も説明会で社会貢献度の高い仕事だなと感じたのを覚えています。最終面接では役員が趣味の話や学生時代のエピソードまで気さくに聞いてくれて、堅い会社というイメージだったのが一気に変わりました。



私もいい意味でイメージのギャップがあったかも。面接では「長所と短所」を深く掘り下げてくれて、自分でも気づいていなかった強みを引き出してもらえた気がします。形式的なやりとりではなく、人をしっかり理解しようとしてくれる姿勢が印象的でした。

日々勉強中の入社2年目 今だから実感できるやりがい



私の担当は、主に高速道路で使われる防音壁や建築物壁面につくサイレンサなど、音をコントロールする製品。社会インフラを担うお客様向けなので、1件ごとの規模が大きいことが特徴です。施工会社やプラントメーカーと打ち合わせを重ね、仕様を調整し、図面を確

認して納期を管理するところまでトータルに行う仕事。学生時代には想像できなかった世界ですね。



ほんとにそう！私たちの仕事はB to Bだから、学生の頃は全く知らなかった。社会ってこんなに奥深かったんだと思っています。私の担当は、製鉄所やセメント工場、電力会社、ゴミ処理施設、プラントメーカーのOEM部品。特殊鋳物と呼ばれる耐磨耗性や耐熱性に優れた材質で、お客様の設備のなかでも特に過酷な箇所に使われるものです。ほとんどがオーダーメイドで、お客様から用途や条件を聞きながら最適な材質を選定して作っていきます。初めて図面を見たときは、まるで暗号のようで理解できませんでした（笑）。



鋳物は歴史のある製品だけど、私は逆にFRPという比較的新しい樹脂素材を扱っています。FRPはガラス繊維と樹脂を組み合わせで作られた素材で、軽くて強く、錆びないのがメリット。スマホやディスプレイの偏光板を作るときに使う芯材としてメーカーに納めています。高い精度が求められるので、品質への意識がとて高い部署なんですよ。



同期でも全く違う仕事をしていて、それ

だけクリモトの事業フィールドが広いということだよ。私は1年目の終わりに初めて担当を持ったときは緊張したけど、先輩に助けられながら無事に納品できた瞬間、「自分の仕事が社会の一部になっている」と実感。今は出張先で完成した防音壁を見るたびに嬉しくなります。



私はお客様から「あなたの説明が一番わかりやすかったよ」と言ってもらえたときに嬉しかった。全国各地のお客様を訪問するので移動は大変だけど、ものづくりの現場でお客様と直接お話しできるのがやりがいにつながっています。



鋳物製品は一見地味に思われるけど、産業の根っこを支えるもの。お客様の課題を理解し、最適な素材を提案できたときの達成感は大きいですね。

失敗をおそれず挑戦できる 温かい雰囲気と支え合い



入社前は、製造現場の方って強面でつつきにくい印象を持っていました。でも実際に現場へ行ってみると、皆さん本当にやさしくて親切なんです。作業の合間に「この温度が高い理由はね」と説明してくれたり、若手の質問にも丁寧に答えてくれたり。上司も「まずはやって

みよう」というスタンスなので、若手も意見を言いやすい。こういう環境だから安心してチャレンジできるし、自分がぐんぐん成長できている実感もあります。



人の温かさや風通しのいい社風がクリモトの魅力だね。私の部署でもわからないことを聞いたら、すぐに手を止めて教えてくれます。入社して間もない頃にミスをしてしまったとき、課長が「大丈夫、全部僕の責任にしてくれたらいいから」と言ってくれて、涙が出そうになりました。このひと言で、失敗を糧にもっと頑張ろうと思えたんです。



当社はベテラン社員も多いけど、皆さんフランクで話しやすい。うちの課長はとてもユーモアがあって、出張の移動中も仕事の話だけでなく雑談で盛り上がります。そんな空気のおかげで、わからないことも素直に聞けるし、失敗も前向きに受け止められるようになりました。また若手同士で情報交換できるのも心強いところ。会社全体に「助け合いながら育てる」文化が根づいていると思いますね。

もっと、今よりも先へ 3人が描く成長ストーリー



自分の提案した製品がカタチになって現場に設置される瞬間は、本当に感動



します。今後もそんな瞬間をたくさん味わえるよう、点検口付きの防音パネルなどクリモト独自の製品をもっともっと広めていきたい。営業の引き出しを増やすため、文系出身にかかわらず設計や構造の知識も深めていきたいです。



自分の成長のためにも勉強は必要ですね。FRPは新しく、まだまだ可能性のある素材。最近は半導体や自動車、船舶用などへの展開も注目されています。私自身も台湾出張を経験して、海外展開の手応えを感じました。そこで今後は語学力を活かしながら、海外の新規案件にも挑戦してみたいです。好奇心を持ち続け、もっと幅広い分野にFRPの価値を届けたいですね。



鋳物分野は成熟している業界ですが、だからこそ新しい発想も求められています。今後は既存製品を守るだけでなく、次の柱になるような新しい材質や製品を提案していくのが目標。将来的には機械販売にも挑戦して、よりスケールの大きな案件に関わってみたい。営業は自分の努力がダイレクトに評価につながるから、「次はもっと」というモチベーションも上がりますね。

バルブシステムを提案

問題解決のカギは現場にある



私たちが所属しているのは、バルブシステム事業部です。バルブとは液体や気体といった流体の流れを制御する弁（ベン）のこと。水道、電力、鉄鋼など社会インフラと産業インフラを支える事業に多数使われています。



バルブシステム事業部では浄水場などの官需分野、発電所・製鉄所・プラント・建築設備などの民需分野を幅広くカバー。海外向けのバルブも多く扱っています。私はそんな事業領域の広さに強みを感じ、景気にも左右されず安定して働けるだろうと入社を決めました。



安定した基盤があるから、新しいことにも思いきって挑戦できるんです。私自身は大阪民



需課の課長として、発電所や製鉄所のお客様を担当するチームを統括。西日本エリアのお客様に対して、事業部方針を元に課の実行計画の決定から個別案件の戦略検討や進捗管理までを担っています。お客様の業種や設備環境が異なれば、提案内容も全く変わるところがこの仕事の難しさであり、面白さでもあります。



私は課長のもとで、関西と四国エリアのお客様をメインに担当し、各地にある発電所やプラントメーカーなど、多様な業

界のお客様と関わっています。大切にしているのは、現場まで直接行ってお話を伺い、バルブが使われる設備や環境を自分の目で確かめながら提案すること。現場を知らずに営業はできないと感じています。



そうした現場主義の姿勢はすごく大事。今はオンラインで打ち合わせすることもできるけど、現場のリアルな温度感はないとわからない。問題解決や改善のカギは必ず現場にあると思っています。



そうですね。現場でお客様と話すことで伝わるものがたくさんあります。最初は出張が多くて戸惑うこともありましたが、今はご当地グルメを味わったり、道の駅で買い物したりと、移動中も楽しんでいます（笑）。

お客様と信頼関係を築くには 雑談できる営業になれ



印象に残っているのは、クリモとの関係が途絶えかけていたお客様のもとに通い続け、契約を復活させたことです。最初の頃は本当に雑談だけ。毎週金曜日の14時に訪問し、少しずつお話しできるようになって、数ヶ月後には大きな案件を任せていただけるようになりました。入社4年目で一番嬉しかった出来事です。



お客様からは「金曜日のYさん」と呼ばれていたね（笑）。営業って、「用事がなくても会いに行ける関係」をつくるのが一番難しいんです。それを地道に実践した。自分で決

めたルールを続け、信頼を勝ち取ったことに感謝しました。



課長から「雑談に行けるような関係性を目指して欲しい」と言われていました。最初の頃はよくわからなかったのですが、今は理解できます。製品を提案だけでなく、雑談を交わしてお客様と心を通わせられるところに仕事の醍醐味があると思います。



私も先輩から「雑談できる営業になれ」と教わったんです。その言葉を次の世代に渡せているのが嬉しいですね。営業はお客様との信頼を積み重ねることができれば、結果は後からついてきます。

世代間ギャップも気にならない フランクな雰囲気がいいところ



私が上司として意識していることは2つあり、一つは「フェアであること」です。部下と公平に接することはもちろん、上司や他部門、お客様に対してもフェアかどうかを部下は見ていると思います。もう一つは「いつ聞かれても手を止めて答えること」。忙しくても「後で」とは言わないことで、相談するタイミングを考えると余計なストレスを無くしたい。



それ、すごく助かっています。入社した当時、同期とはよく「上司に声をかけるタイ

ミングって難しいよね…」と話していたんです。でもA課長はいつも話しかけやすい雰囲気であつとした疑問もすぐに聞けるので、迷いが減って仕事のスピードも上がりました。



そう思ってくれていて良かった。まあ普段から雑談も多い職場だからね（笑）。



課長がいつも明るく話してくれるので、課の雰囲気も穏やかですよ。



Yさんと私は親子ほど年齢が離れていますが、距離の取り方で苦労したことはありません。私の娘と同じ歳くらいですが、仕事仲間として自然に会話しています。上下関係は必要ですが、一緒にやっという空気感を大切にしているんです。



私もジェネレーションギャップを感じたことはありません。経験豊富な上司・先輩たちと若手社員のコミュニケーションが活発なのもクリモの良さかもしれません。

早くから任せる文化が 成長を加速させる



そして、社員一人ひとりの挑戦を応援してくれる文化があるのもクリモの魅力。私が若手の頃から、上司は寛容に挑戦を見守ってくれました。今でも課長として課の新しい取り組みを上司に提案すると、ほとんどの場合は任せてもらえます。一人ひとりの裁量が大きいぶ

ん責任も伴いますが、それが人が成長させるのだと思っています。



1年目の半年間は、いろいろな先輩に同行させてもらいました。担当先も案件の進め方も人によって違っていて、「正解は一つじゃない」ということを学びました。同行期間中に「自分ならどうするか」と考えることで、早い段階から担当を持たせてもらった後も、自分で考えて行動できる力が身についた気がします。



若手を信じて任せる風土が、会社全体に根づいていますね。目標は設定されるけど、そこに至るアプローチは人それぞれ。だから一人ひとりの自主性と創造性が育まれ、成長のスピードも速い。Yさんのように自ら考え動ける人が増えるほど、組織は強くなっていきます。

学び合いの環境で もっと、変化を楽しむ



現在のバルブシステム事業は堅調に推移していますが、一方で成熟が進み、市場がこれ以上広がりにくい危機感も感じています。そこで今後はバルブに限らず、クリモのコア技術を活用した新製品で新たな市場を見つけ、パイオニアになることに挑戦したいと考えています。



すごくやりがいがありそうですね！私の当面の目標は、営業として数字を伸ばし会社に貢献することです。そして上司や先輩たちの知識・経験・技術をしっかりと受け継いでいきたい。私たち若い世代がこれからのクリモを支える層になっていくと思うので、10年後には教える側として、課長のように部下の背中を後押しできる存在になりたいと思っています。



逆に私たちの世代も、若手から学ぶことが増えています。SNSやAI、デジタルツールといった新しい技術は、若手のほうが取り入れるのがうまい。経験や年齢に関係なく、これからもお互いが教え合い、学び合う姿勢を大切にしていきたいですね。



課長は最新ツールの使用にも積極的で、私も負けていけないなという刺激を受けています。知識やスキルはもちろん、変化を楽しむ姿勢も見習ってみたいです。



【上司】

バルブシステム事業部
西部営業部
大阪民需課
1996年入社 **A.K**

芸術学部 音楽学科卒。インフラに軸足を置く老舗企業でありながら、先端技術にもチャレンジしている意外性に惹かれてクリモに入社。現在は課長として、西日本エリアの民需分野を統括。現場経験を活かし、部下が安心して挑戦できるチームづくりを心がけている。

CROSS TALK

【部下】

バルブシステム事業部
西部営業部
大阪民需課
2022年入社 **Y.R**

人間社会学域 地域創造学類卒。大学ではダムと地域社会の関係について研究し、インフラに携わるメーカーを志望。官需と民需のバランスが良く、安定した事業基盤を持つクリモを選ぶ。現在はA課長のもと、若手営業職としてフットワーク軽く活躍中。

自己負担2割の 借り上げ社宅

自宅からの通勤時間が2時間以上かかる方や、転勤で住まいが必要になる方が対象の社宅制度です。家賃の自己負担はわずか2割に抑えられ、新しい環境でも安心して生活を始められます。



在宅・フレックスで 自由な働き方

業務や状況に応じて在宅勤務が週2日まで利用でき、フレックスタイム制度（コアタイム10:00～15:00）も活用可能です。ライフスタイルに合わせて働けるため、仕事と生活の両立がしやすい環境です。



週に一度の ノー残業デー

週に一度は定時で退社できるノー残業デーを設け、オンオフの切り替えを重視しています。平均残業時間は月15.9時間（2024年度）と少なく、仕事もプライベートも大切にできる働き方を実現しています。



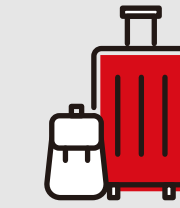
連続休暇制度で リフレッシュ

年に一度、2日以上連続休暇を取得できる制度です。旅行や帰省、家族との時間など、日常から離れてリフレッシュすることで、心身のリセットと新たな活力につながります。働きやすさを高める大切な取り組みです。

Point
有休を2日以上連続取得（年1回以上）

昼食補助で ランチがお得に

社員食堂やお弁当に補助があり、毎日のランチを手軽に楽しめます。食堂は1食290円、お弁当は80円で利用でき、食堂が無ければ昼食補助手当を支給。忙しい日でもしっかり食べられる、嬉しいサポートです。



オフは カフェテリアプラン で楽しめる！

旅行や映画、レジャー施設などをお得に利用できるカフェテリアプランを採用。食事券の補助もあり、休日の楽しみが広がります。働く毎日をより豊かにしてくれる福利厚生です。



栗本鐵工所が *Motto* 魅力的に見える！

豊富な福利厚生制度を紹介

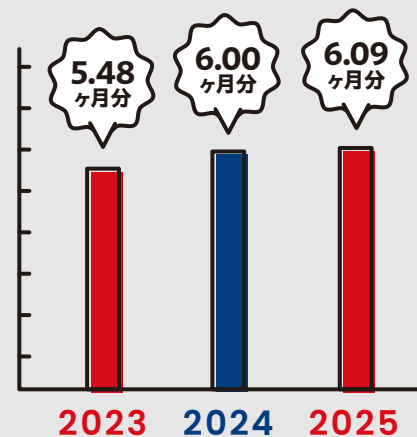
Kurimoto, Ltd.

Employee benefits

栗本鐵工所では、暮らしの安心から働き方の柔軟性、成長支援まで、
多彩な福利厚生を整えています。
仕事と生活を両立しながら、自分らしく活躍できる環境です。

ボーナス実績

安定した業績と公平な評価制度により、頑張りがきちんと報われる賞与制度です。2023年度5.48ヶ月、2024年度6.00ヶ月、2025年度6.09ヶ月と高水準を維持し、働くモチベーションにもつながっています。



選べる研修制度で スキルアップ

通信教育は200種類以上から選べ、最大80%を会社が補助。さらに資格取得の費用援助や奨励金制度もあり、キャリアアップを目指す社員をしっかりと支援しています。成長意欲に応える環境が整っています。



子育てと仕事の 両立サポート

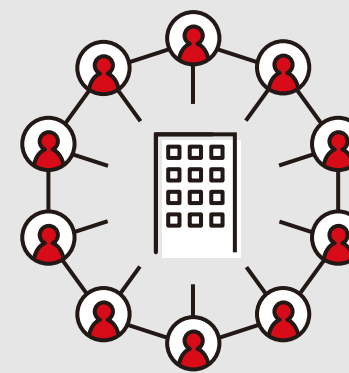
育児休業取得率は77%（2024年度）で、短時間勤務や看護休暇などの制度も充実。配偶者出産休暇3日や育児休業特別休暇10日など、子育てと仕事を両立しながら安心して働ける体制が整っています。



加入しないともったいない

持株会

社員持株会には奨励金20%がつき、90%以上の社員が加入する人気制度です。財形貯蓄や社内預金制度とあわせて、将来に向けて無理なく資産形成ができる点が大きな魅力です。



社員が選ぶ！

あって良かった 福利厚生ランキング

